

執筆者紹介

■著者

ヨハン・ガルトゥング (Johan Galtung)

1930年生。前オスロ国際平和研究所所長。現在、平和・開発・環境のためのネットワーク「トランセンド」を主宰。1987年度ライト・ライブリフッド賞受賞。著書は、*A Theory of Peace: Building Direct Structural Cultural Peace*, Kolofon Press, 2013, *Peace by Peaceful Means: Peace and Conflict, Development and Civilization*, SAGE, 1996など多数。2003年よりトランセンド平和大学 (TPU) を主宰している。

■監訳者

藤田明史 (ふじた あきふみ)

立命館大学非常勤講師 (平和・紛争論)、日本平和学会会員、トランセンド研究会理事、安齋科学・平和事務所客員研究員。

共編著『ガルトゥング平和学入門——*Introduction to Galtung's Theory of Peace: Grasping Peace for the 21st Century*』(法律文化社、2003年)、共訳『ガルトゥングの平和理論——グローバル化と平和創造』(ヨハン・ガルトゥング、法律文化社、2006年)、論文『『原子力平和利用三原則』の思想と現代的意義』(技術と人間編『技術と人間』2002.11、pp.42-53)、「平和のモデルとしての音楽——音楽の文化的暴力性の問題をめぐって」(日本平和学会編『平和研究』29号、pp.85-101、2004年)、「ヒロシマ・ナガサキの経験をいかに普遍化するか——被爆作家大田洋子の文学から考える」(トランセンド研究会編『トランセンド研究』11巻2号、pp.87-96、2013年)など。

奥本京子 (おくもと きょうこ)

大阪女学院大学教授、東北アジア地域平和構築インスティテュート運営委員会委員長、日本平和学会理事、国際トランセンド東北アジア地域コンビナー、非暴力平和隊・日本理事、京都造形芸術大学・東北芸術工科大学共同研究機関文明哲学研究所客員教授。

単著『平和ワークにおける芸術アプローチの可能性：ガルトゥングによる朗読劇 *Ho'o Pono Pono: Pax Pacifica* からの考察』(法律文化社、2012年)、共著・翻訳『ガルトゥング平和学入門——*Introduction to Galtung's Theory of Peace: Grasping Peace for the 21st Century*』(法律文化社、2003年)、共著『平和学を学ぶ人のため

に』（世界思想社、2009年）、翻訳『平和的手段による紛争の転換【超越法】』（ヨハン・ガルトゥング、平和文化、2000年）、論文「紛争転換と芸術：動態的平和を模索して」（日本平和学会編『平和研究』39号、pp.69-89、2012年）など。

■ 訳 者

トランセンド（平和的手段による紛争の転換）研究会

「トランセンド（TRANSCEND）」は平和学者ヨハン・ガルトゥングによって設立された平和的手段による平和を探求・実践する NGO であり、当研究会は「トランセンド・日本」の立場から、(1)紛争の平和的転換への貢献、(2)トランセンド理論の研究・向上、(3)市民への普及、を目的として2000年に設立された。これまでにトランセンド理論を用いた数多くのワークショップを開催し、二元論の束縛から社会を解放し、「どちらをも」(both/and)の視点を確立するため、成果を研究会誌『トランセンド研究』やウェブサイトなどに公表してきた（ウェブサイト <http://www.transcendjapan.net>）。本書の翻訳は、そうした活動の一環である。翻訳チームのメンバーは次の通りである。

Aya Haldimann 翻訳家（火曜日担当）

いとうたけひこ 和光大学教員（日曜日担当）

奥本京子 監訳者（月曜日担当）

中嶋大輔 とも塾（火曜日担当）

中野克彦 立命館大学非常勤講師（火曜日担当）

日野愛子 国連プロジェクトサービス（土曜日担当）

藤田明史 監訳者（はじめに、イントロダクション、火曜日、金曜日担当）

室井明 長野県中野西高校教諭（木曜日担当）

室井美稚子 清泉女学院大学教授（水曜日担当）